

海燕社

の小さな

映画会 2024

7/21(日) 14:00~ 沖縄県立博物館 美術館 講堂(3F)
受付 13:15 開場 13:30 料金 1,200円(予約制) 当日 1,500円
予約(海燕社) ☎ 098-850-8485 / ✉ mail@kaiensha.jp
※小中高校生は先着10名まで無料

九州・沖縄から

文化力

POWER OF CULTURE
後援：沖縄県 那覇市



予約用QR



©1990年 シグロ ©写真 本橋成一

老人と海

2010年/98分

ディレクターズカット版

日本最西端・与那国島を舞台にした老漁師と
巨大カジキとの格闘の物語

1991年ニューイングランド映画祭グランプリ受賞

製作：シグロ

撮影：清水良雄

音楽：小室等

企画・製作：山上徹二郎

演出：ジャン・ユンカーマン

録音：本間喜美雄／滝澤修

編集：市原啓子

音楽：小室等

演奏：坂田明／佐藤允彦／竹田裕美子／石川鷹彦／他

スチール：本橋成一

82才の老人がひとり小舟を操り 流れの速い黒潮で
巨大カジキに挑む！

今から34年前、荒々しくも美しい自然が残る与那国島に
サバニと呼ばれる小舟を操り200キロもの巨大カジキを
追う老漁師がいた。島の人々に支えられ、ばあちゃんを
愛して海に行き、海を愛して漁に出る。じいちゃんは長い

不漁に苦しみながらも、自然への敬意と漁師の誇りを忘
れず、1年後、ついにカジキとの格闘に打ち勝った。まっ
すぐなじいちゃんの生き方や、自然と人間とが共存する
姿から、人が生きる事の根源的な強さと豊かさがはっき
りと見えてくる。

ヘミングウェイの不朽の名作『老人と海』の世界が
地球の裏側に厳存していた

小説『老人と海』の舞台であるキューバのハバナ港と、
日本最西端に位置する与那国島とは、緯度がほぼ同じで
似たような激しい海流が流れている。この面白い類似に
気が付いたプロデューサーは、『老人と海』の世界を求め
て与那国島に飛んだ。そしてサバニに乗ってカジキ漁を
する老漁師、糸数繁さんと出会い、与那国島の独特な文化
や、ゆったりと流れる時間をカメラに収めながら1年に
わたって撮影を敢行し、企画からまる5年がかりで映画
は完成した。

じいちゃんは愛する海に還っていった

映画完成後、最初の上映会が与那国島で開かれた。そこで
じいちゃんはヒーローになった！

しかし、東京公開を1ヶ月後に控えた1990年7月末、いつ
ものようにサバニで漁に出ていたじいちゃんは、カジキ
と思われる大魚に引きずり込まれ、海で還らぬ人となっ
てしまう。海と共に生き、そして海に還っていったじい
ちゃんは、真の意味で『老人と海』の主人公そのものだった。



©1990年 シグロ ©写真 本橋成一



©1990年 シグロ ©写真 本橋成一



©1990年 シグロ ©写真 本橋成一

上映作品、上映日は都合により変更することがあります。詳細は、海燕社のウェブサイト (<http://www.kaiensha.jp>) や SNS にてご確認ください。

古書店 うみつばめ

問合せ ☎ 098(850)8485 / メール k.umitubame@gmail.com

海燕社のウェブ古書店うみつばめ。年中無休で開店しています。
こだわりは、画家 石垣克子デザイン、オリジナルブックカバー
(単行本・新書・文庫本)とオリジナルしおり(3種類)です。
いずれかをご購入の本におつけします。
本とご縁がありますように。



ウェブ古書店